

1. 事業の位置付け

事務事業名	水辺の散策路整備促進事業		
事業担当	まちづくり事業部 みどり公園・水辺課		
予算科目	01-080301-050000	事業種類	○ ハード      ● ソフト
総合計画の位置付け	03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	01	① <自然との共生> 四季を通じて豊かな恵みを与えてくれる自然と親しむ	
	02	2 自然と親しめる場づくりを進める	
根拠法令等			
対象・受益者	市民、水辺利用者	事業期間	
委託、協働	【委託： <input checked="" type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働：      馬入水辺の楽校      】		
目的・目標		事業の概要	
馬入橋から神川橋までの高水敷に水辺の散策路を整備し、川に親しめる環境づくりが進められています。		河川に親しめる環境づくりのため、河川管理者に水辺の散策路の整備促進を働きかけます。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	流域住民との検討会開催回数						単位	回
	説明・算定式	流域住民との検討会の実施回数							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標			1	2	3			
	実績			1					
活動指標②	指標名	国への要望回数						単位	回
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標			1	1	1			
	実績			1					
成果指標①	指標名	利用可能な水辺の散策路延長割合						単位	%
	説明・算定式	馬入水辺の楽校エリア内の散策路整備率							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標			-	30	60			
	実績			-					
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標								
	実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
馬入水辺の楽校で活動している地域住民等との意見交換会の実施1回。国に対し散策路の整備延伸を協議した。また、要望の結果、国が予算化した。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	馬入の河川敷は不法投棄などの環境改善を目的とし花畑などの整備が国・県・市の事業として進めてきた。近年では、利用者も増加し、堤防道路との回遊性を持たせたルートへの整備が必要である。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	車椅子やお年寄りのためにもバリアフリー化を図る必要がある。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	馬入花畑や水辺の楽校エリヤの利用者増加にともない、散歩やサイクリングの市民ニーズは高い。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	国による整備。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		整備は国で行うが、維持管理は市で行うことが約束されており今後の管理費用の増加が見込まれる。		

## 3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				検討会の実施、国 などへ要望書の提出	検討会の実施、国 などへ要望書の提出	検討会の実施、国 などへ要望書の提出		
財源 内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	4	342	2,000	0	0
事業費 (A)		0	0	4	342	2,000	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	0.00				
内 訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.57	0.57	0.57	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	4,783	4,783	4,783	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	4,787	5,125	6,783	0	0

## 4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input type="radio"/> 現状の規模で継続 <input checked="" type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> バリアフリー化を進める必要からも継続した要望活動や整備に伴う管理費用の増加が考えられる。	
平成21年度の実行方針	
馬入花畑との一体的な管理によりフレキシブルな対応を図る。	
課長コメント	上流域までの整備については、河川環境(不法投棄や不法耕作)等が解消された段階において整備することが望ましいと考える。